



日本大学文理学部国文学科
日本語基礎演習 2

はじめに

月9のヒロインからみる 方言ステレオタイプ

吹き替え作品での 関西弁の扱い方

漫画と実写化映画の方言

方言ステレオタイプの 反映の程度

漫画における 方言の扱われ方

少女漫画における 大阪方言

漫画における 広島弁キャラの ステレオタイプとの比較

おわりに

少女漫画における 大阪方言



7.3.別冊マーガレット (集英社) における比較 (園部夏穂)

7.3.1.『ラブ★コン』と『イタズラなkiss』におけるキャラクターの方言と性格の比較

3人の性格を以下の表に当てはめてみると以下のような結果が得られた。なお、◎がよくあてはまる、○がまああてはまる、△があまりあてはまらない、×がまったくあてはまらないとし、「冗談好き」から「やくざ」の7種類までが金水 (2003) で定義されている大阪弁キャラクターのステレオタイプで、残りの「穏やか」と「照れ屋」は『ラブ★コン』の当てはまる性格を追加した。

表3 キャラクター性格分析

キャラクター名	冗談好き 笑わせ好き しゃべり好き	けち守銭奴 拜金主義者	食通くいし んぼう	派手好き	好色下品	ど根性	やくざ暴力団 こわい	穏やか	照れ屋
中尾平吉	△	×	×	×	×	×	×	◎	×
鈴木涼二	×	×	×	×	×	×	×	○	◎
池沢金之助	◎	×	○	○	○	○	×	×	×

図1 (縦軸の単位は回、キャラクター名の下に使用率、方言使用回数は1つのセリフに複数の方言が使用されていても1回と数える)

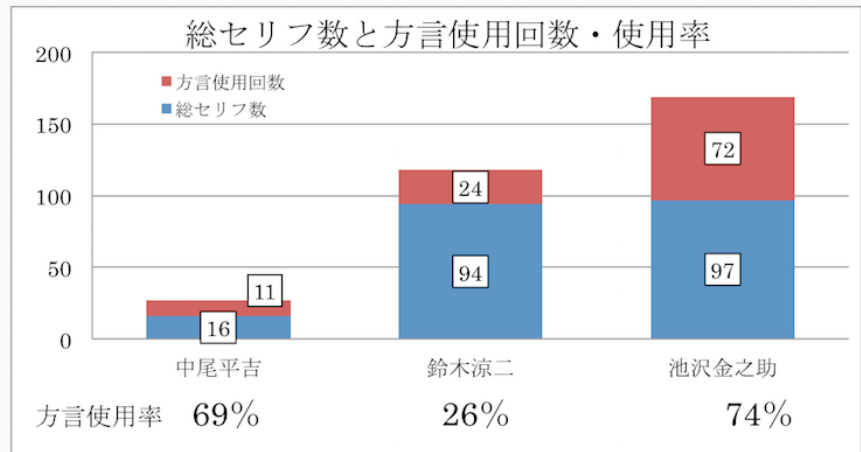


図1を見ると、総セリフ数では『ラブ★コン』でメイン回があった鈴木涼二と『イタズラなkiss』の池沢金之助は同じくらいだが、方言使用率では中尾平吉と近くなった。

図2

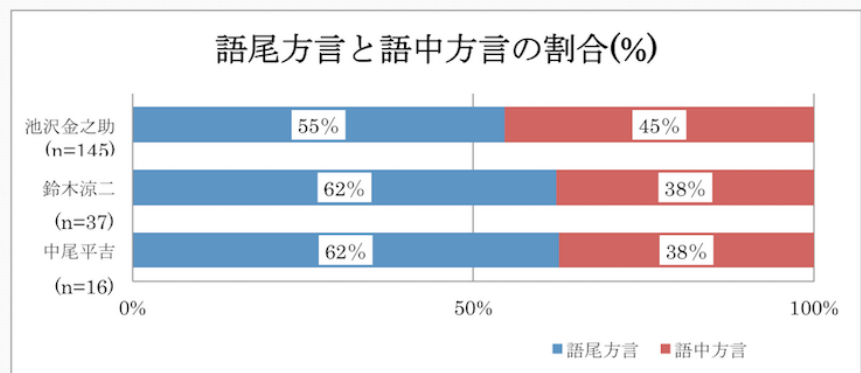


図1、図2、表3を含めて、2作品の共通点と相違点を調査した。共通点として、図2から1つ目に使用される方言は語尾につくものが多いことが挙げられた。2つ目に、中尾平吉の「みんなまわってくれたんやー」や鈴木涼二の「苦手やから」、池沢金之助の「地震や」などと3人と最も使用されている方言は「や」であった。3つ目に使われている方言は、読んでいても意味が分かるもので、独特な表現がなかった。

続いて相違点を挙げる。まず方言に関して、池沢金之助の方が、『ラブ★コン』の2人に比べて1回のセリフの量が多く、使用方言も多くなるため、方言使用率も一番高いといった違いが出た。次に性格に関して、池沢金之助はステレオタイプに当てはまるもの多く、『ラブ★コン』の2人はあまり当てはまらず、新しいタイプの性格であるという違いが出た。

→ 7.1.目的

→ 7.4.花とゆめ (白泉社) における比較 (松崎史緒理)